

2016年(平成28年)4月4日

《 宇都宮定見氏の誹謗中傷に事実をもって反論します 》

～第5回(7回連続)～

大分県別府市上原町11番30号

西馬行政総合事務所 行政書士・西馬 良宣

行政書士の宇都宮定見氏は最近、自身のHPやブログ(YouTube 動画)で西馬行政総合事務所と行政書士・西馬良宣に対する誹謗中傷を繰り返しています。この中で同氏は「反論」と称して荒唐無稽な主張を標語(スローガン)として唱えるだけの卑劣な言動を反復しています。

中には「〇〇が〇〇して…」等と意味不明なものもありますが、ここに現在までに判明した、同氏が主張している主な6つの事柄について、事実を裏付ける資料を6回にわたって公開し反論します。このような同氏の行為は、西馬行政総合事務所と行政書士・西馬良宣の名誉を、著しく傷つけ、信用を毀損するだけでなく、行政書士会と他の行政書士の社会的評価も貶める事になりますので、直ちに中止する事を求めます。

今回は「反日活動家・西馬良宣」との誹謗中傷の根拠として、宇都宮定見氏が持ち出したものは一体何かという問題です。それは祖国日本を愛し、イラクへ派遣される自衛隊員の事を心配した朝日川柳の一句です。

資料④ …「反日活動家・西馬良宣」の根拠として、宇都宮氏がもち出したのは当事務所の12年前の「豆ニュース」(平成16年1月号)です。その前年は、米英軍による大義なきイラク戦争が引き起こされ、自衛隊が「非戦闘地域」に派遣された年でした。

新年の当事務所「豆ニュース」の中でこの問題に触れましたが、この記事の最後に、当時の朝日新聞に掲載された「自衛隊サンタの服で行けばよい」(八女市・吉原鐵志)との『川柳』を紹介しました。

これが当方が「反日活動家」だとの理由で、宇都宮氏はYouTubeの動画で次の様に語っています。「今回は反日活動家西馬良宣の政治的イデオロギーについて反論します。『西馬! サンタの服を着て子供と総会に行けばよい。』と言われた場合、どの様に反論するのでしょうか?『西馬! サンタの服を着て裁判所に傍聴に行けばよい。』とあらゆる表現が可能です。軍隊のない国など存在しません。一見の偏見を持った方がいかにも正論のようなプロパガンダする事に当職は反日活動家による日本の未来に杞憂を覚えます。詳しくは私のホームページに書いてます。みなさんどしどしご意見をください。」

これらの主張は「殺さない。殺されない。殺させない」という日本国憲法を精神を理解していない浅はかな考えで、質の悪いこじつけ・言いがかりとしか言いようがありません。当時の「豆ニュース」の全文を掲載します。





米英軍によるイラクへの武力行使の行く方と政府の対応に心奪われた'03年が過ぎました。平和と戦争について毎日のように考えさせられた一年でした。北朝鮮による拉致問題も解決の展望が見えないまま年を越しました。半世紀以上前の日本による朝鮮人強制連行問題が今回の拉致の思想の背景にあるとすれば、肉親の命を理由もなく奪われ、劣化ウラン弾の放射能汚染に日々遭遇せざるをえなくなったイラクの子ども達が、半世紀後にどんな考えを持って世界と関わっていくようになるのか心配です。大量破壊兵器は未だ見つからず、リビアに開発の事実があったとは

**謹賀
新年**

**イラク・アフガン
国際貢献の姿とは**

不思議な話です。イラクがアフガンのように国際社会から見捨てられることなく無政府状態から一日も早く脱してイラク人自らの手による安心の社会が訪れる事を心から願います。戦争で利益を得るのは一握りの軍需産業で、女性・子ども・老人・障害者…といった社会的弱者が最大の犠牲者になってしまう事は、前世紀100年の歴史が教えています。国連を中心にした平和的な解決に日本が知恵を絞っていく事が国際貢献の本来の姿ではないでしょうか？
「自衛隊サンタの服で行けばよい」(八女市・吉原鐵志・朝日川柳) 最後になりましたが今年も職員一同依頼者の立場にたって頑張ります。よろしく！
なお、仕事初めは1月5日です。



当事務所の業務時間は、土曜・日曜・祝日を除く朝9時から夕方5時半までです。